

平成16年度 鯨類捕獲調査船団一般公開 実施要領(案)

1. 日 時： 平成16年4月24日(土) 開会式典 09時00分～10時00分
一般公開 10時00分～16時00分
平成16年4月25日(日) 一般公開 09時00分～16時00分
2. 場 所： 函館港 西ふ頭
3. 主 催： 財団法人日本鯨類研究所、日本捕鯨協会、共同船舶株式会社
共 催： 鯨類捕獲調査船団函館寄港を歓迎する会(函館市、上磯町、大野町、七飯町、戸井町、恵山町、椴法華村、南茅部町、函館商工会議所、函館水産連合協議会、全日本海員組合道南支部)
4. 後 援： 水産庁、北海道
5. 協 賛： 社団法人大日本水産会、社団法人自然資源保全協会、海の幸に感謝する会、捕鯨を守る全国自治体連絡協議会、北海道クジラ食文化を守る会、全日本海員組合捕鯨を守る会北海道支部、クジラ料理を伝える会、ウーマンズフォーラム魚、北海道いさなOB会、渡島町村会、檜山支庁管内町村会、北海道渡島管内商工会連合会、北海道檜山管内商工会連合会、渡島管内漁業協同組合長会、ひやま漁業協同組合、社団法人函館国際観光コンベンション協会、函館国際水産・海洋都市構想推進協議会、函館物産協会、函館湯の川温泉旅館協同組合、函館割烹調理師会、湯川調理研究会、函館製麺組合、函館くじら普及協議会
6. 公開船舶： 調査母船 日新丸(7,638トン)、目視採集船 第二勇新丸(747トン)
7. 公開主旨： 南氷洋ミンク鯨捕獲調査から帰国した両船を一般市民に公開し、船舶設備の見学、捕獲調査内容の実態見聞、船団員・関係者との交流を通じて、鯨を含む海洋生物資源の持続的利用の重要性や伝統のクジラ食文化について広く一般の理解と支持を得ること。
8. 内 容： 船舶設備、調査設備・機器などの見学及び説明
パネル・写真・器具類・氷山の塊などの展示及び説明
鯨グッズ・缶詰・書籍等の販売、くじら鬚・パンフレット類の配布
鯨類捕獲調査の意義・必要性・正当性の説明展示
船団員・関係者との交流
9. その他： 4月24日(土)に「海の幸に感謝する会」主催による捕鯨問題に関する講演会及び交流を深めるための懇親会を実施する。
地元関係者によるステージイベント、郷土産品の販売、鯨肉販売、鯨汁の無料提供等を実施する。

以 上